

下水がどうやってきれいになるか見てみよう! 下水処理場見学会

問 下水道課 Tel.06-6992-1751

- 内 ①下水道について知ろう
②下水がどうやってきれいになるのか
実際に見てみよう

時 11月15日(土) 13:00~15:00※雨天中止

場 下水終末処理場 集合・解散
(南寺方東通1丁目7番7号)

対 市内在住(小学生以下は保護者同伴)

定 先着20人程度

備 無料駐車場・駐輪場あり

申 10月6日(月)9:00~
20日(月)17:00
オンライン申請にて

オンライン申請は
こちら↓



可決成立 令和7年度一般会計当初予算

問 財政課 Tel.06-6992-1402

令和7年度の一般会計当初予算については、8月19日の市議会本会議で成立しました。

成立した予算は、原案からスポーツ関係団体補助金を削除するなどの修正を行った予算です。

	一般会計当初予算額
修正前	79,400,000千円
修正額	▲ 1,520千円
修正後	79,398,480千円



詳しくはホームページを
ご覧ください→



消費生活センターだより

「このままでは大変なことになる!?!」
点検商法に注意してください ⚠

【事例1】

「近所で工事をするのであいさつに来ました」「屋根瓦がちょっと浮いているように見えます。はしごがあるので見てみましょうか」と業者が訪問してきた。せっかくなので見てもらうと、写真を見せられ「このままだと雨漏りしますよ」と言って100万円の屋根工事を勧められた。不安になり焦って契約してしまった。解約できないか。

【アドバイス】

無料や格安で点検した後に不安をあおり、高額な工事などを契約させる手口を「点検商法」といいます。

▼安易に点検に応じないようにしましょう

事業者は「あいさつ」など消費者がついドアを開けてしまいそうなトークで訪問してきます。訪問販売を行うときは勧誘に先立って、業者名や勧誘目的などを告げることが法律で義務付けられています。ルールを守らず販売目的を隠して訪問してくる事業者に注意しましょう。

▼その場ですぐに契約をするのはやめましょう

不安をあおられると契約を急いでしまいがちです。事業者の説明をうのみにせず、その場での契約は避け、複数社から見積もりを取りましょう。不明な点は納得するまで十分に説明を求め、よく比較・検討して、納得できる事業者と契約しましょう。

▼不要なときは「いりません」「お断りします」とはっきり伝えましょう

訪問販売の場合、消費者が断っているのに勧誘を続ける、再び訪問して勧誘することは法律で禁止されています。

▼訪問販売を望まない場合は、訪問勧誘お断りステッカーを玄関に貼っておきましょう

大阪府消費者保護条例では、ステッカーを無視して訪問勧誘を行うことは、不当な取り引き行為として禁止されています。

▼契約をやめたいときは、クーリング・オフ

訪問販売で契約をしたときは、契約書を受け取ってから8日間は、工事終了後でも無条件で契約を解除できる場合があります。しかし、なかなか返金に応じない悪質な事業者も見られます。クーリング・オフ期間内の工事や代金前払いの契約は避け、8日間冷静になって考える時間を持ちましょう。

トラブル防止のため、安易に契約はしないようにしましょう。

問 消費生活センター相談専用電話
Tel.06-6998-3600(平日 9:00~16:30)
問 消費者ホットライン(土・日、祝日)
Tel.局番無し 188(土・日、祝日 10:00~16:00)



回答期限10月8日(水) 国勢調査の回答はお済みですか?

問 国勢調査守口市実施本部 Tel.06-6992-1430

10月1日を期日として、国勢調査を実施しています。回答がまだの人は、9月下旬に配っている調査書類を確認していただき、インターネットまたは郵送での回答を、10月8日(水)までお願いします。なお、調査書類は全世帯に配っていますが、万が一、調査書類が届いていない場合や追加の調査票が必要な場合(5人以上の世帯など)は、上記国勢調査守口市実施本部まで問い合わせください。

調査票の記入に関する質問は下記国勢調査コンタクトセンターへ。

問 国勢調査コンタクトセンター
(土・日、祝日含む9:00~21:00)

Tel.0570-02-5901(ナビダイヤル)
03-6628-2258(IP電話)



「戦後80年」平和への祈り 守口市戦没者追悼式

問 地域福祉課 Tel.06-6992-1570

今年、戦後80年を迎える節目の年です。市では、先の大戦で犠牲となった人に対し、追悼の誠を捧げるとともに、再び戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、恒久平和への誓いを新たにすため、「守口市戦没者追悼式」を下記のとおり開催します。

内 開式・国歌斉唱・霊名簿安置・黙とう・式辞・追悼のことば・献花・霊名簿返納・閉式

時 10月29日(水) 14:00~(13:30~受け付け)

場 市役所1階会議室

式典は、どなたでも参列できます。戦争の教訓を次世代に継承していくため、戦争を知らない若い世代の積極的な参列をお待ちしております。



「わたし」を生きることが、未来を変える(全5回) すべての人が自分らしく生きられる社会へ

問 人権市民相談課

Tel.06-6992-1512

【第4回】生きているだけで価値がある ～祖母が教えてくれた"命どう宝"～

かつては「別の誰か」になりたくて演じていた私が、今は「自分の言葉」で誰かに何かを届けたくて舞台上に立っている。それは、私にとってとても大きな変化でした。

でもなお、他人のことなら「そのままでもいい」と思えるのに、自分のことになると、なかなかそう言ってあげられない。そんな瞬間が、たくさんありました。頭では分かっているけど、どこか「腑に落ちない」感覚が残っていたのです。そんなある日、私はひとつの転機を迎えました。母と、沖縄に住む祖母と一緒に「平和の礎」を訪れた日のことです。

そこには、沖縄戦で亡くなった人の名前がびっしりと刻まれていて、祖母の家族全員の名も並んでいました。

祖母は、沖縄戦で家族を一瞬で失い、たった一人生き残った人です。今も祖母が暮らす浦添市は、住民の二人に一人が亡くなったと言われる激戦地。



俳優 谷ノ上朋美氏

祖母は十六歳で焼け野原を歩き、捕虜になり、誰にも頼らず戦後を生き抜いてきました。

その命が母に、そして私に、つながってきたのです。あの場所に立ったとき、「私の命は、奇跡の連鎖の中にあるんだ」と実感し、涙が止まりませんでした。生きているだけで、意味がある。存在しているだけで、命には価値がある。この世界で「ただ生きているだけでいい」という理由を、ようやく体の奥から納得できた瞬間でした。

自分を認めること、自分の命を大切に思うこと。それはきっと、知識や理屈ではなく、「体験」や「実感」の中らしか育っていかない。

その思いを、どうしても伝えたくて、私は「ゆんたくしましようね」という舞台を創りました。

沖縄戦を題材に、命の尊さと、平和への祈りを込めた一人芝居です。命の重み、平和の意味、自分らしく生きることの大切さ。それを伝えたくて。

演じることは、私にとって「癒し」であり、「祈り」でもあります。この舞台が、誰かにとって「自分の命を見つめ直すきっかけ」になればと、願いながら演じ続けています。